

旧ソ連の時代から

ロシア覇権主義と きびしく対決 日本共産党

ロシアは共産圏？ 日本共産党も仲間？ とんでもない誤解です。旧ソ連の時代から、ロシア覇権主義を世界でもっとも厳しく批判してきたのが、日本共産党です。

「全千島を返せ」と正面から要求

第2次世界大戦後、旧ソ連のスターリンが「領土不拡大」という国際的約束を反故にして、不当に占領した千島列島。日本共産党は、この覇権主義の行動をきびしく批判し、全千島と歯舞・色丹は日本の歴史的な領土であり、全面返還すべきと主張しています。

党乗っ取りの干渉攻撃はねのけて

1950～60年代には、日本共産党をソ連の手先につくりかえようという激しい干渉を受けましたが、それをキッパリとはねのけ、旧ソ連に「干渉の誤り」を認めさせました。どんな国の覇権主義も認めない自主独立の立場は、歴史で検証済みです。

ソ連崩壊を「もろ手をあげて歓迎」

チェコスロバキア、アフガニスタンなど外国への侵略を繰り返した旧ソ連は、社会主義とは縁もゆかりもない覇権主義の国でした。1991年にソ連共産党が解体したとき、「歴史的巨悪の党と30年にわたってたたかってきた党として、その終焉(しゅうえん)を歓迎する」と声明を出したのが日本共産党です。



日本の平和は大丈夫？

9条生かす外交戦略を
力の論理が一番危険

ロシアの無法を見て「日本の平和は大丈夫か」と心配の方も少なくないでしょう。

“軍事対軍事”で平和は訪れるでしょうか。「力の論理」は、際限なき軍拡競争に発展し、予期しない衝突さえ起きる一番危険な道です。そういう道ではなく、東アジアを平和な地域にしていくための憲法9条を生かした外交戦略こそ必要ではないでしょうか。

憲法9条は日本の侵略戦争の反省を踏まえたものですが、日本共産党は“9条がありさえすれば平和が訪れる”と言っているのではありません。“9条を生かした外交努力で平和を築こう”と主張しています。



憲法9条と国民の命
両方を守り抜く

9条のもとでも自衛権ある

憲法9条のもとでも自衛権があるというのが日本共産党の立場です。国の独立・主権が脅かされた場合、抵抗してたたかうのは当たり前です。

共産党は憲法9条の完全実施に向け、国民多数の合意で自衛隊を段階的に解消していくとともに、「万が一、日本に対する急迫不正の侵略が起きた場合には、自衛隊を含めてあらゆる手段を用いて国民

の命と日本の主権を守り抜く」(志位和夫委員長)という方針です。

この方針は急に言い出したことではありません。22年前の第22回大会で公式に決定し、2004年に改定された綱領に書き込んでいます。

9条を将来にわたって守り生かすことと、国民の命を守り抜くための政治の責任を統一的に追求する、最も責任ある立場です。